

製品名: Socius Rabbit ポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab18087

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	57kDa

抗原情報

遺伝子名	UBXN11
別名	UBXN11; SOC; UBXD5; PP2243; UBX domain-containing protein 11; Colorectal tumor-associated antigen COA-1; Socius; UBX domain-containing protein 5
遺伝子 ID	91544.0
SwissProt ID	Q5T124
免疫原	抗血清はヒト UBXD5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

背景

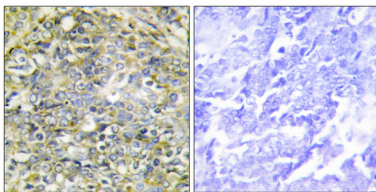
この遺伝子は、異なる C 末端 UBX ドメインを持つタンパク質をコードしています。ラットの相同タンパク質は、その C 末端領域を介

して細胞周縁部の Rho GTPase の Rnd サブファミリーのメンバーと相互作用します。また、いくつかのヘテロ三量体 G タンパク質の G α サブユニットを介して相互作用し、Rho GTPase の活性化を促進します。上流シグナル伝達経路を介して Rho 活性の促進と阻害において双方向の役割を果たすことが提案されています。この遺伝子の 3'コード配列には、24ヌクレオチドのタンデムリピートの多型領域が含まれています。1.5~5個のリピートユニットを含む複数の転写産物が報告されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: RND1、RND2、RND3 を介したアクチン細胞骨格の再編成に関与している可能性があります。GNA12 および GNA13 を介した RHOA 活性化を促進する。、多型性:繰り返し数は多型であり、1から4まで変化する。、類似性:1つの SEP ドメインを含む。、類似性:1つの UBX ドメインを含む。、サブユニット:GNA12、GNA13、RND1、RND2、RND3 と相互作用する。、

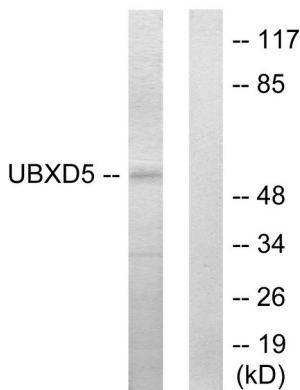
研究分野

-

画像データ



UBXD5 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



UBXD5 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。